

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	個別ケアを目指して支援をしているが、統一したケアにつながらないことが多く、認知症支援の研修の時間が不足している。	職員研修を増やし、質の向上を目指す。	タブレットを使用して、課題になっているケアの仕方等に対して、目的を明確にした研修内容とする。	6か月
2	23	利用者の生活歴や習慣、思い等をくみ取ったり、できることができるような環境作りに取り組める体制作りをする。	一人ひとりが「どのように暮らしていきたいか」を理解し、意向に沿った支援を行う。	利用者の立場に立ち、望む暮らし方に寄り添った支援を行う。	6か月
3	48	家事活動に参加している利用者が限定されていて、できるのにできない環境になっている。	日常生活の家事活動の中で、個別にできることを考え実施する。	利用者・全職員で取り組む時間を作る。	6か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。